

カーコーティング豆知識 カーコーティングとは

コーティングの歴史

今と違って、昔の自動車塗装はラッカー系塗料を使用していたため、耐候性(UV・酸性雨など)に劣り、光沢など「美観」の維持が困難でした。

昭和25年あたりから一般的に「WAX」が普及し始め、耐候性の悪さから来る光沢の減退を緩和しようと「WAXがけ」をするようになったと聞きます。「美観」を保つために塗装面に何かを乗せて保護をするという行為が始まりました。

固形WAXから半ねりWAX、液状WAXなど色々な性質のWAXが目によって作られ、しばらくの間WAXの時代が続きますが、その間に自動車の塗装が劇的に進化したし、WAXを塗るメリットは減り、WAXを塗る

デメリットは減り、WAXを塗る



WAXとカーコーティングの違い

WAXの主成分は蠟と石油系溶剤で構成され、簡単に言うと油です。WAXは塗装面に塗布することで深い艶を演出する事が出来ますが、被膜は不安定で半液体で塗装面に乗っかっています。耐熱性も低く簡単に蒸発し、雨や洗車で簡単に油脂分

が流出し、残った蠟分が角質化して水垢の原因になります。また、持続期間も約1ヶ月程度といわれています。

これに対してポリマー系コーティング(ここでポリマー系のコーティング)は、シリコンやフッ素などを含んだポリマー(高分子重合体)で構成されています。このポリマーは架橋反応で、分子が結合している強固な被膜を塗装面上に形成し、被膜内に各種の汚染物質が進入するのを防ぎます。耐熱性や耐候性もワックスの比ではありません。効果の持続期間も約3ヶ月から約1年と長い(例外もある)のが特徴です。

カーコーティングを選ぶ基準

選ぶ基準は、人それぞれが持っている感性やクルマとの付き合い方によって変わると考えます。確かに高価なコーティングは性能的に優れています。必ずしもそのユーザー様に合っているかどうかと言うと、そうでもない場合もあります。

車両の保管状況や月間の走行距離や使用目的などによっても変わると考えます。

ポリマー系・ガラス系のどちらが優れている？ではなく、ユーザー様が愛車とどのように付き合っていくか、自分のカーライフスタイルで選ぶ事を強くお勧めします。

ポイント1

ポイント2

ポイント3

メンテナンスフリーのコーティングは存在しません。また、不意な塗装のトラブルに見舞われる事があるかも知れません。メンテナンスメニューの充実や何かあった時に相談できるお店で施工することも選ぶ重要なポイントではないでしょうか。

KeepPre 大公開! キーパーの秘密... 今までのボディケアは... 1. 車を買った! 2. うれしくてワックスをかける 3. 何度もワックスをかける 4. 美しい艶(ツヤ)にワックスをかける 5. こんなキズがついている 6. 美しい艶(ツヤ)にワックスをかける

ボディのくすみ諦めてませんか? ピッカピカの新車も、くすみかけの中古車も KeepPre におまかせください。1. まず、水アカ 鉄分 亜硫酸を水を使って塗膜にやさしくプロの技でトコン取る! 2. キズを埋め 汚れをしみ込ませない高分子被膜を作ります。 3. ツルツルピッカピカ!! 4. しばらくすると汚れは付きませんがそれでも心配いりません。 5. メンテナンスをするたびにどんどんキズが埋まります。 6. そしてず〜っと良くなり続けます。

2006年ワールドカップドイツ大会にあわせてアウトバーンに作られたカーンのアーチ... 日本代表の意外な活躍もあつたけれど、綺羅星のごとく輝くスター選手たちが実に印象的なプレーや姿を見せてくれたこと、いっそう私たちの記憶に大きな足跡を残してくれた大会だった。 この大会の優勝チームは、8得点で大会得点王になった怪物ロナウドを擁したブラジルで、ロナウドは決勝で2点を取った。これでブラジルは5回目のワールドカップ優勝を飾ったのである。 私にとって大会得点王にもロナウド、カーンの活躍は多い。 クラブチームのサポートには、自分が応援するチームにしか関心が無いものだ。 私が、カーンは数少ない例外である。 それでも、女性ファンが多いのがまたなんとも不思議な現象なのだ。そのきっかけは、どうもこの決勝戦後の放心した姿にあるらしい。 いかにも男くさいカーンが、全精力を以って戦い抜いた後のあの姿に、女性ファンは心を揺さぶられるらしいのである。男の私にもよく解る。カーンは、やっぱりカッコイイのだ。(続く) (筆者: 弊社フットボールライター)

キーパーコーティングの仕組みを分解したリーフレット(表・裏)です。制作から10年以上を経た現在も、キーパーコーティングを施工するメリットとワックスとの違いを説明する最適なツールとして好評を得ています。

この大会の優勝チームは、8得点で大会得点王になった怪物ロナウドを擁したブラジルで、ロナウドは決勝で2点を取った。これでブラジルは5回目のワールドカップ優勝を飾ったのである。 私にとって大会得点王にもロナウド、カーンの活躍は多い。 クラブチームのサポートには、自分が応援するチームにしか関心が無いものだ。 私が、カーンは数少ない例外である。 それでも、女性ファンが多いのがまたなんとも不思議な現象なのだ。そのきっかけは、どうもこの決勝戦後の放心した姿にあるらしい。 いかにも男くさいカーンが、全精力を以って戦い抜いた後のあの姿に、女性ファンは心を揺さぶられるらしいのである。男の私にもよく解る。カーンは、やっぱりカッコイイのだ。(続く) (筆者: 弊社フットボールライター)